

ベナン月例報告（2013年4月）

1. 内政

- ・ 2日、ヤイ大統領は、アジヨビ（M.Sévérin Adjovi）ウイダ（Ouidah）市長と会談し、インドの支援で建設予定のトラクター組立工場用地について議論した。
- ・ 4日、国民議会において、恒久電子化選挙人名簿（LEPI : la Liste Electrale Permanente et Informatisée）修正のための指導委員会（COS : le Comité de l'Orientation de la Supervision）に、議員代表9名（与党5名、野党4名）を含む11名のメンバーが決定した。
- ・ 11日、ベナン国家警察庁新長官にウンデニョン（M. Philippe HOUNDÉGNON）氏が任命された。
- ・ 22日、3月に予定されていた地方選挙がLEPI修正作業の遅延のために延期になっていることに伴い、市長及び地方議員の任期を延長する法案が、国民議会において採択された。一部では、かかる法案の採択は、国民議会議員や大統領の任期を延長することを容認することになるとの批判が上がっている。
- ・ 28日、ヤイ大統領はコトヌ港東岸において護岸工事中の7堤防を視察した。3堤防は既に完成しており、ヤイ大統領は残る4堤防の完成を急ぐよう指示した。かかる護岸工事により、海岸線浸食を防ぐとともに、砂の港への流入を防ぐことができるようになる。

2. 外政

- ・ 11日、コンゴ共和国のチバンベレラ（M. Bernard TCHIBAMBELELA）農業・水産大臣がベナンを訪問し、ヤイ大統領と会談した。両者は、水産分野での二国間協力について意見交換をした。
- ・ 14日、アフマディネジャード（M.Mahmoud AHMADINEJAD）イラン大統領がベナンを訪問した。ヤイ大統領及びアフマディネジャード大統領は、経済、教育、公共安全、人道支援、農業、エネルギー、鉱物、民間セクター等の分野で協力を強化する旨合意した。またこれら複数のプロジェクトを具体化するために、二国間協力委員会を設置することで合意した。また、両大統領は、15日、マリア・グレタ（Maria-Gléta）発電所において、イランの資金援助（4100万ドル）による25メガワット規模の発電所建設にかかる定礎式を行った。将来的には、200メガワットの発電所もイランの支援により建設される予定。

3. 経済

- ・ 2日、仏のボロレ（Bolloré）グループの新ターミナルが7月に開設することになり、ヤイ大統領が同建設工事を視察した。

- ・ 4日、ヤイ大統領は、ケトゥ（Kétou）において、トルコの支援により建設予定である水力発電ダムの定礎式に出席した。2015年には、現在200メガワットであるベナンの電力需要は300メガワットまで増加する見込み。このケトゥ・水力発電ダムは、ウエメ（Ouémé）川流域のダムとしては、他の4基の多目的ダム（ドゴ（Dogo、128メガワット）、ボサ（Vossa、80メガワット）、ベテル（Bétérou、25メガワット）、アジャララ（Adjarrala、160メガワット））に引き続き、5基目となる。
- ・ 9日、ヤイ大統領は、トルコのセメント製造企業 Limak Cement Industry and Trade 社の代表団と会談した。同企業は、ベナンのセメント製造分野、エネルギー分野等に対する投資の興味を示しており、意見交換が行われた。
- ・ 12日、ボロレ・グループがコトヌ港において、ガントリー・クレーン機を新設し、ヤイ大統領が引渡式に出席した。
- ・ 16日、ベド（Mme.Akuavi Marie-Elise Christina GBEDO）産業・商業・中小企業大臣が、アラダ（Allada）のパイナップル加工工場を視察した。（こうした国営の農産品加工工場は、ベナン各地に6工場あり（一部のみ稼働）、効率的な経営のため将来的に経営を民間企業に委託するかどうか問題となっている。）
- ・ 21日、ヤイ大統領は、トリ（Tori）のアグロ・インダストリー企業 Agrisatch を視察した。同企業は、鶏肉、卵等を生産する。サチビ（M. Jean Baptiste SATCHIVI）社長は、ヤイ代表に対し、同企業の円滑な操業のためには、エネルギーの安定供給が不可欠である旨訴えた。

4. 開発・協力

- ・ 5日、中国の Heng Tian 社（業種不明）は、ベナン繊維公社（Compagnie Beninoise de textile）にトラック2台を供与した。
- ・ 10日、イスラム開発銀行はベナンに対し、綿花生産、エネルギー、石油開発分野で、今後4年で2250億 FCFA を支援する旨発表し、かかる署名式が、ヤイ大統領、ドウ・スウザ（M. Marcel Alain de SOUZA）開発・経済分析・未来計画大臣の出席の下実施された。
- ・ 17日、ウィダで、インドの支援によるトラクター組立工場の定礎式が実施され、ヤイ大統領が出席した。
- ・ 19日、独の農家らがグランポポ（Grand-Popo）を訪問し、ベナン人農家との意見交換を行った。
- ・ 19日、独復興金融公庫（KfW）は、ラロ（Lalo）市の4地域において給水施設を建設する旨発表した。総工費は、6億 FCFA になる予定。
- ・ 20日、中国の支援による政府合同庁舎の建設工事が完了し、ヤイ大統領が視察した。5月から順次、省庁が転居する予定。

- ・ 22日、ボルグ（Borgou）、及びアリボリ（Alobori）県において、世銀の支援による「共同体による地方分権化プログラム（PSDCC : Projet de services décentralisés conduits par les communautés）」が開始した。同プログラムでは、基礎社会サービスをより円滑に供給するための財政支援、技術支援、人材育成等が同県下のコミューンに対して実施される。

5. 社会

- ・ 21日、違法ガソリンの販売者らが、政府による厳しい取締りに抗議して一週間の販売停止のストライキを敢行する旨発表した。30日には、収束した。

6. 治安

- ・ 3日、アボメ・カラヴィ（Abomey-Calavi）において、繰り返し強盗等を行っていたと見られる5人の男が逮捕された。
- ・ 7日、ヤイ大統領は、コトヌ市において昨今高まる治安の悪化に対処するため、警察、憲兵隊、軍隊から成る混合パトロール隊を組織することを決定した（ジャパタ（Djakpata）作戦と名付けられた）。
- ・ 9日、2人のマリ人男性と1人のベナン人女性が、詐欺の容疑でコトヌ中央警察に逮捕された。被害総額は、6000万 FCFA に上る。
- ・ 16日、ロコサ（Lokossa）市で火事が発生し、5人が死亡、多数の家屋が焼失した。
- ・ 16日、パラク（Parakou）市において3人の男が、偽札偽造の容疑で逮捕された。発見された偽札の総額は2億 FCFA に上る。
- ・ 18日、ジャパタ作戦により、コトヌ各地で70人が逮捕された。